



小郡市立小郡中学校 令和6年11月8日

小郡中学校だより 第223号

校長 船津 聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

「人のせい」ではなく、「おかげさま」で暮らしたい

「秋の日はつるべ落とし」の言葉のように、日が暮れるのが日に日に早くなってきています。11月になりましたが、寒暖の差が激しい季節ですので、体調管理には十分に注意していただきたいと思っています。

さて、「所為」という漢字を見たことがありますか。この漢字は「せい」と読みます。「人のせいにする」の「せい」です。人間は結構わがままで、自分に原因があって謝ればすむことでも、自分の悪かったことは棚に上げて、ついこの「所為」を使ってしまう人も多いのではないのでしょうか。随分前の話ですが、遅刻した生徒に「なぜ、遅刻したの」とたずねたところ、「親が起こしてくれなかった」「目覚まし時計をセットしたのに鳴らなかった」という場面がありました。遅刻した理由を「親のせい」「目覚まし時計のせい」にしてしまっているわけですね。みなさんも似たような経験がないのでしょうか。

では、なぜ人は「人のせい」にしてしまうのでしょうか。私自身も反省することがよくありますが、人のせいにしてしまった方が気が楽だという自分の甘えがそうさせているのかもしれない。「人のせい」にばかりしないで、自分のあやまちは自分に原因があることを素直に認め、「自分に厳しく、他人にはあたたかく接する人」になりたいものです。

先日、ある本を読んでいたら『おかげさま』という詩を見つけましたので、紹介したいと思います。

私たちは他者がいるから成長できているのです。大切なことは日々の「おかげ」に気づいていくことだと思います。それは目に見えるものだけでなく、私たちを支えてくれている万物の恵みに気づいた時に出てくる言葉が「おかげさま」だということです。「おかげの固まり」に気づき、感じとって日々暮らしていきたいものです。



おかげさま

夏が来ると「冬がいい」と言う
冬が来ると「夏がいい」と言う
忙しいと「暇になりたい」と言い
暇になると「忙しい方がいい」と言う
自分に都合がいい人は「善い人だ」と言い
自分に都合が悪くなると「悪い人だ」と言う

衣食住は昔に比べりゃ天国だが
隣を見ては愚痴ばかり

どうして自分を見つめないのか
静かに考えてみるがよい
一体自分とは何なのか

親のおかげ
友だちのおかげ
世間様のおかげの固まりが自分ではないか
つまらぬわがまを捨てて
自分勝手に慎んだら
世の中はきっと明るくなるだろう

「俺が」、「俺が」を捨てて
「おかげさま」、「おかげさま」で暮らしたい
(一部抜粋等あり)

吹奏楽部…感動する演奏をありがとう!

10月12日(土)にふれあい公園で「ふれあい祭り」が開催されました。この「ふれあい祭り」は、人権のまちづくりふれあい公園を地域住民の出会いの場として、多くの人が集い、人権のまちづくりの交流の輪を広げてもらうことを目的に開催されています。そこでは、本校吹奏楽部による気持ちを込めた演奏を披露して



【「ふれあい祭り」での演奏】

くれました。また、吹奏楽部は「市民まつり」で演奏するなど、10月は大変だったと思います。特に、10月26日(土)に小郡市文化会館大ホールで開催した「オータムコンサート」は、吹奏楽部のすばらしい演奏はもちろん、観衆を楽しませてくれるコンサートでした。吹奏楽部3年生にとっては、「中学生時代の部活動の集大成」ともいえるコンサートだったわけです。



【オータムコンサート】

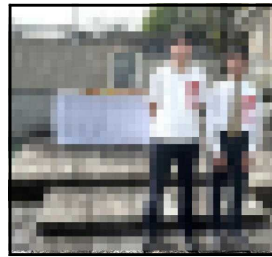
引退する3年生は、部活動を通していろいろなことがあったでしょう。喜びもあったでしょう。つらかったり、悔しかったりしたこともあったでしょう…。そのひとつひとつを思いだし、振り返ってください。きっと自分が成長した跡が見えてくるはずです。感動する演奏をありがとう！

第35回野田宇太郎生誕祭献詩入選 おめでとう！

10月27日(日)に野田宇太郎生誕祭が行われ、献詩入選者の表彰式に、さん、さんが出席しました。本校からは3名の献詩が入選し、その作品は、ひとりひとりの思いや考えがにじみでて、その情景が思い浮かぶすばらしいものでした。入選、おめでとう！

一席に入選したさんの献詩を紹介します。

第35回野田宇太郎生誕祭献詩入選者〈中学の部〉		
一席	(3年)	「アイスカフェオレ」
二席	(3年)	「雲に憧れて」
三席	(3年)	「旅路」



【表彰式にて】

アイスカフェオレ

カラ
この音で目が覚めた

またこれだ

カーテンのすき間から
眩しい夏の陽がさしこんでくる
机の上には
開いたままのノートと
水滴だらけのコップ
ついさっき作ったはずの
カフェオレが入っている

さっきの音は
カフェオレの中の氷だ

いつのまにか
溶けて小さくなっていった氷
まるで
あつという間にすぎていく
私の夏休みのようだ

〈第35回野田宇太郎生誕祭献詩 中学生の部一席〉

〈本校生徒の活躍の紹介〉中体連大会 よくがんばりました！

10月19日(土)に市郡駅伝大会、10月23日(水)に筑後地区駅伝大会が行われました。自分ひとりのためではない、みんなの思いと努力が染み込んだ襷をつないでくれました。練習を積み上げてきたみなさんの姿はすばらしく、たくましさを感じました。駅伝部のみなさん、本当によくがんばりました。また、11月3日(日)には筑後地区中学校新人ソフトボール大会が開催され、ソフトボール部のみなさんは最後まであきらめない姿勢で試合に臨み、大いに健闘してくれました。目標としていた県新人大会出場には届きませんが、必ずや来年の夏の大会では、一段と成長した姿を見せてくれるものと信じています。



Ⓜ️ 男子優勝

【市郡駅伝大会】



【地区駅伝大会】



【地区新人ソフトボール】

小郡市三井郡中学校駅伝競走大会結果 令和6年10月19日(土)小郡運動公園ジョギングコース	
【男子】	【男子】区間賞
小郡中A 優勝	〈第1区間2位〉
小郡中B 8位	〈第2区間1位〉
小郡中C 11位	〈第2区間3位〉
小郡中D 16位	〈第3区間2位〉
小郡中E 18位	〈第4区間2位〉
	〈第5区間3位〉
	〈第6区間1位〉
【女子】	【女子】区間賞
小郡中A 3位	〈第1区間3位〉
小郡中D 8位	〈第4区間1位〉
小郡中C 10位	〈第5区間2位〉
小郡中B 12位	

筑後地区中学校駅伝競走大会結果
令和6年10月23日(水)大牟田市諏訪公園周回コース

【男子】19位(全40チーム) 【女子】17位(全35チーム)



小郡市立小郡中学校 令和6年11月20日

小郡中学校だより 第224号

校長 船津聡哉



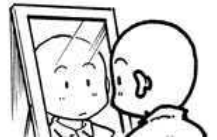
学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

時には自分自身と向き合う時間をつくりましょう！

『明珠在掌（みようじゆたなごころにあり）』…「明珠（＝大切な宝）は外の世界にはなくて、すでにあなたの掌（手のひら）にありますよ」という禅の言葉です。大切な宝とは人によって違うかもしれません…家族だったり、仲間だったり、仕事だったり、思い出だったり…。当たり前すぎて忘れてしまいそうになってしまう、そういうものが大切な宝だと教えてくれる言葉だと思います。自分には何も無いと悲観することなく、他人をうらやむことなく、自分がもつその宝を守るため、活かすために、目の前にあるやるべきことに、一生懸命にとりくんでいくことが大切だと教えてくれる言葉でもあります。

近年、経済学の分野で「エフェクチュエーション」という理論が注目を集めています。学校でも会社でも、一般的には目標を定め、それに向かって時間や労力といった資源を投入し、いかに早く正確に目的に到達するかという競争を競ってきました。ただ、世界の偉大な経営者の行動原理を観察すると、実はそんな風に行動していないといえます。しかも、一年先はおろか一月先の状況も読めない今、前提条件が日々目まぐるしく変わってしまい、目標を立てて行動するということが難しくなりました。「エフェクチュエーション」というのは、自分とは何か、自分は何ができるのか、誰を知っているのかなどなど、自分自身を深く見つめ観察することです。自分をしっかり把握したうえで、いろいろな人との出会いの中で想定外の新たなアイデアやサービスを生み出し、雪だるま式に大きくしていく…いわば昔話の「わらしべちようじゃ」のような生き方を意味します。

日常生活を送っていると自分を省みる時間もなかなかありません。しかし、時には自分自身と向き合う時間をつくり、自分の中にあるすばらしいものを見つめ直したいものですね。



本校生徒の活躍【地区新人大会結果及び入賞者の紹介】

筑後地区中学校新人大会結果	
令和6年11月16日(土)実施	
卓球(男子)	準優勝
バレーボール(男子)	惜敗

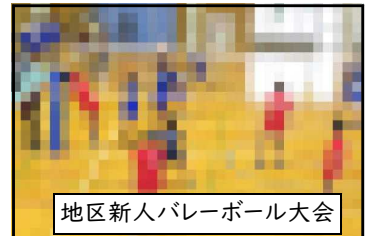
11月16日(土)に筑後地区中学校新人大会が開催されました。〈結果は右表〉選手のみなさんの集中力と不屈の精神力に心

から敬意を表します。特に、男子卓球部は準優勝というすばらしい成績を収め、

1月11日(土)に開催される福岡県大会に出場します。健闘を祈っています。



地区新人卓球大会



地区新人バレーボール大会

3年のさんは11月9日(土)に開催された北筑後中学生英語スピーチコンテストで優秀賞を受賞しました。文化発表会でも披露してくれましたが、一段と磨きがかかり表現力・説得力のある発表は圧巻でした。さんは上位5名に入賞し、12月7日(土)に行われる福岡県中学生英語スピーチコンテストに出場します。がんばってください。

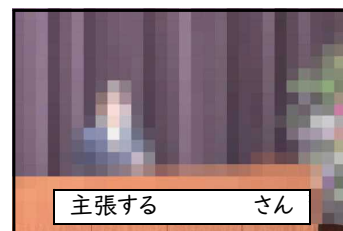


さん

また、2年の ^{しょう} ^{こうちゅうあんぜんさくぶん} ^{みごと} ^{さい} さんは小中学生交通安全作文コンクールで見事、最優秀賞を受賞、
11月19日(火)に福岡国際会議場で行われた表彰式に出席しました。入賞、おめでとう。

〈おごおりっ子からのメッセージ〉…堂々とした主張でした

11月2日(土)に小郡市文化会館大ホールで「おごおりっ子からの
メッセージ」が開催され、市内の小・中・高校生が思いや願いを主張
しました。本校からは、みなさんの記憶に新しいと思いますが、文
化発表会でも発表してくれた3年の ^{だいはり} ^{どうどう} さんが学校の代表として堂々と主張してくれま
した。自らの貴重な体験を通して至った強い思いは説得力をもって聴衆の共感呼び、
満場の拍手が送られました。



〈保護者のみなさまへ〉「教育条件整備に関する署名」ありがとうございました

署名活動に関するお世話をしていただいたPTA役員・地区委員さん、署名に回っていただ
いた保護者のみなさま、お忙しい中、誠にありがとうございました。おかげさまで、小郡校区
では昨年度を上回る7,016筆の個人署名、27の団体署名(11月1日現在)をいただきま
した。趣旨にご賛同いただき署名していただいた方々にも厚くお礼を申し上げます。

11月11日(月)に市人権啓発センターにおいて、小郡校区からの要望を校区人権のまちづ
くり推進連絡会の会長である井手区長と中学校PTA大澤会長から訴えていただきました。
市教育委員会の秋永教育長からも、①児童生徒支援加配及び指導方法工夫改善教員の継続
配置・新規配置、教職員定数等の改善 ②高校奨学金の充実(給付型奨学金制度の創設)
③学び場支援事業の子どもを支援する体制づくりの充実 ④ICT教育推進に関わる支援体
制の充実 ⑤「35人学級化」と定数欠を生まない教職員の配置 ⑥養護教諭配置基準の
見直しと状況に応じた複数配置 ⑦特別支援教育及び日本語指導支援に関わる教職員、支援員
の配置 ⑧学校施設等の充実と安心・安全な通学路の整備 等の要望を国・県に上げていく旨
の回答をいただきました。来年1月22日(水)には、この署名をもって県教育委員会へ陳情に行
っていただきます。たくさんの方々が動いてくださるおかげで、すべての子どもたちの教育条
件整備が少しずつ進んでいることに感謝いたします。

土曜日授業への参加ありがとうございました

11月9日(土)は土曜日授業でした。参観に来ていただいた保護
者のみなさま、地域のみなさま、本当にありがとうございました。
修学旅行説明会や進路説明会も行いましたが、この日は人権学習



の授業参観をしていただき、保護者や地域のみなさまと一緒に人権について考えるという大
きな目的がありました。人権教育の目標は、『自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践
行動』がとれるようになることです。周りの人を思いやる心を持ち、その心を形として表し
ていくこと〈実践行動〉が重要であること、周りの人を大切にすることは、何より自分自身
を大切にすることにつながるということを子どもたちには学んでほしいと思っています。私
たち大人も愛情と信頼に基づいて子どもに接すること、偏見を持たず、差別をしない生き方
を生活の中で実践することが、子どもたちの人権感覚を育む上で重要となってきます。今後
も人権や子育てについて一緒に考えていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。